

はじめに

帝国データバンク史料館は、「信用取引」と「信用調査」の歴史を取り上げる日本で唯一の企業ミュージアムとして2007年4月に開館し、今年で12年目を迎えます。人類史において、信用取引は1000年以上、信用調査は200年以上にわたり、経済活動を支える上で重要な役割を果たしてきました。この歩みについて、当館は経済界、学界に限らず一般市民の皆様に広く紹介し、共に考えることができればとの想いをもって活動しています。

本書は2012年より『Muse』の「別冊版」として刊行を始めました。第5弾となる『別冊Muse2016－2018特大号』では、「地場産業」をテーマとして、この3年間の成果をまとめました。当館開催の産学連携特別企画　日本の会社展第4回「地場『讃』業—伝統と革新の軌跡ー」（2018年3月21日～5月20日）に即し、展示に参画いただいた経済史・経営史・歴史地理等の専門家による座談会、インタビュー、論考など多彩な内容で構成しています。本別冊号を通して、今まで続いてきた地場産業の背景には、伝統を守りながらも状況に応じて革新を繰り返してきた人々の営為があることを感じていただければ幸いです。

2018年5月

目次

はじめに

監修の辞に代えて

「地場『讀』業—伝統と革新の軌跡—」展について.....

監修委員長 阿部 武司

8

Special Talk

地場産業とは何か、産地のこれまでとこれからを考える.....

沢井 実×湯澤 規子

補論余話.....

阿部 武司×沢井 実

35 12

Talk Session 白熱メッセージ 阿部武司・大島久幸・岡部桂史・湯澤規子

学連携特別企画「地場『讀』業—伝統と革新の軌跡—」展を監修して

産地研究へのアプローチとその成果への期待.....

40

研究ノート

特別インタビュー 北海道平取町二風谷、産地が守るアイヌ伝統工芸..... 斎藤 玲子×高津 隆

灘酒の伝統と近代化をめぐる相克.....

手漉き和紙 1400年の歴史と現状.....

「大館曲げわっぱ」時代の荒波越えて、産地を維持発展.....

96 88 82 70

40

8

参加後記（研究者編）

有松鳴海絞り—新たな工芸に挑戦する環境づくり—

浅野 翔

私が醤油醸造業史研究を志した理由

井奥 成彦

私が出会った花織産地—それは2枚のコースターから始まつた—

井口 梓

播州織物産地に新たな可能性

大田 康博

日本の食文化と陶磁器産地

大森 一宏

ものづくりを介して伝える想い

奥田 博伸

一世紀以上にわたり存続してきた産地の現場の方々から学ぶこと

白井 泉

「アリの視線」で見えた産地の暮らし

須山 聰

産地の解体と消滅の危機—歴史家はどう向き合うか—

張 枫

産地への理解が拓く豊かな暮らし

塙本 優平

自治都市堺—ものづくりのDNAと堺継通—

中村 晶子

灘の歴史を知る—真のお酒の味わい方—

二宮 麻里

ものづくりが我が国の未来を制する…ものづくりを大切に

野田 隆弘

伝統産業と研究者の役割

初澤 敏生

産地研究を通して新しい知見や豊かな発想を提供

花木 宏直

個人作家が担う陶器産地／「伝統」という選択

濱田 琢司

ジャパンシルクの種火は消えず

松浦 利隆

伝統工芸品の価値とは

山本俊一郎

人と手と地域

湯澤 規子

総評

地場産業インタークレッジ「学生報告合戦」

力作揃う、豊かなコンテンツ、明快な論旨

阿部 武司

参加後記（学生編）

- 東北大学経済学部 結城武延ゼミナール
高崎経済大学経済学部 加藤健太ゼミナール
筑波大学大学院生命環境科学研究所 吳羽正昭ゼミナール
埼玉大学経済学部 大石直樹ゼミナール
文京学院大学長期フィールドワーク授業 川越仁恵
青山学院大学経済学部 落合功ゼミナール
慶應義塾大学 commerce 須島利明研究会
高千穂大学経営学部 大島久幸ゼミナール
立教大学経済学部 岡部桂史ゼミナール
横浜市立大学国際総合科学部 山藤竜太郎ゼミナール
長岡大学経済経営学部 松本和明ゼミナール
愛知学泉大学現代マネジメント学部 藤田幸敏ゼミナール
和歌山大学経済学部 長廣利崇ゼミナール
関西学院大学商学部 木山実ゼミナール
流通科学大学商学部 加藤慶一郎ゼミナール
愛媛大学社会共創学部 井口梓ゼミナール
高知工科大学経済・マネジメント学群 生島淳ゼミナール
九州大学経済学部 鷺崎俊太郎ゼミナール
名桜大学国際学群 卯田卓矢ゼミナール